

平成30年第1回臨時教育委員会

平成30年2月6日(火) 午後3時
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月 田 健 二	説明員	教育部長	渡 部 丈 司
	委員	支 部 英 孝		教育部次長	萬 直 樹
	委員	橋 本 幸 子		学校教育支援室長	
	委員	林 大 輔			伊 藤 忠 信
	委員	須 田 壽美江		総務課長	山 崎 正 樹
				学校教育課長	廣 田 修
				教育支援課長	松 井 正 行
				給食センター長	鈴 木 知 幸
				対雁調理場長	鈴 木 正 春
				生涯学習課長	天 野 保 則
				スポーツ課長	三 浦 洋
				情報図書館長	山 岸 博
				郷土資料館長	榎 田 智 幸
				郷土資料館主幹	兼 平 一 志
			記録員	総務課総務係長	嶋 中 健 一
			傍聴者	なし	

1 審議事項

(1) 平成30年議案第6号

平成30年度江別市一般会計教育予算(案)について

会 議 録

月田教育長	<p>(開会)</p> <p>ただいまから、平成30年第1回臨時教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は、配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を林委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>1の審議事項(1)平成30年議案第6号 平成30年度江別市一般会計教育予算(案)についての説明を求めます。</p>
渡部教育部長	<p>渡部教育部長お願いします。</p> <p>初めに、私から平成30年度江別市一般会計教育予算案についてご説明申し上げます。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p> <p>平成30年度の教育委員会所管の歳出予算であります。総額22億1,338万2,000円となっております。昨年と比較しますと、2億5,354万7,000円の減、率にして10.3%の減となっております。主な減要因は、江別第一小学校の外構・グラウンド工事と、大麻体育館トレーニング室棟耐震改修工事が平成29年度をもって完了したことによるものであります。</p> <p>次に、別冊資料の教育行政執行方針(案)をご覧ください。</p> <p>この教育行政執行方針は、今月26日に初日を迎える平成30年第1回定例会において、市長の市政執行方針に続き、教育長から教育行政の執行方針として述べる内容となっております。平成30年度は、現在、国が策定中の第3期教育振興基本計画の初年度に当たり、新学習指導要領も昨年度末に告示され、社会に開かれた教育課程の実現、言語能力、情報活用能力等の育成や、理数教育、道徳教育、外国語教育等の充実を基本としております。</p> <p>本市もまた、えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)の5年目を迎え、学校教育基本計画、社会教育総合計画及びスポーツ推進計画などの諸計画の改定作業を進めているところであります。</p> <p>全ての子供たちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体を、このふるさと江別で育むとともに、市民一人ひとりが、生きがいや心の豊かさを持って健康で暮らしていけるよう、具体的な政策展開につきましては、2ページの下段以降、学校教育、社会教育、そしてスポーツの順に、基本的な方針と重点的な取り組みについて記載しております。</p> <p>私からは以上であります。教育予算案の概要につきましては、総務課長、他からご説明いたします。</p>
山崎総務課長	<p>続きまして、私から平成30年度の教育予算案の概要についてご説明申し上げます。</p> <p>資料の2ページをご覧くださいと存じます。</p> <p>教育予算のうち、増減の大きな科目についてご説明いたします。</p> <p>まず、教育総務費についてであります。外国語教育に係るALTの増員により増となる一方で、特別支援教育推進事業に係る工事費が減少したことによる減等により、差引きで3万8,000円の減となり、前年度並みの予算となっております。</p> <p>次に、小学校費についてであります。合計で10億278万8,000円、14.9%の減となっており、主に、学校営繕費で計上しておりました、江別第一小学校の外構及びグラウンド工事が終了したことにより、経費が大幅に減額となったものであります。</p> <p>次に、中学校費であります。中学校校務用パソコンの更新による償還金の増のほか、学校管理費における燃料費の増、また、学校営繕費における中学校校舎改修工事の減により、合計で1,076万4,000円、3.2%の増となっております。</p> <p>次に、社会教育費ですが、市民文化ホールの屋上防水シート改修工事の終了による減のほか、公民館施設補修整備費の増、情報図書館で今年度更新した図書館システムの保守経費の増などのため、合計で502万3,000円、1.4%の減となっております。</p> <p>最後に、保健体育費ですが、2目の体育施設費は、大麻体育館トレーニング室棟耐震改修工事が終了したこと等により、合計で1億5,478万7,000円、21.4%の大幅な減額となっているものです。</p> <p>次に、平成30年度教育予算案主要事業についてご説明申し上げます。</p> <p>資料の4ページをご覧ください。</p>

廣田学校教育課長	<p>総務課所管分についてですが、上から2行目、教育委員会車両購入経費は、平成29年度に購入した教育庁舎で使用する車両購入の償還費として措置されたものであります。</p> <p>さらに2行下の江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業は、江別第一小学校の外構工事等が終了したことに伴い、事業を廃止するものであります。</p> <p>最後に、一番下から5行目と6行目の小学校及び中学校の施設業務員関連経費についてですが、平成30年度から施設業務員に係る事務を総務係から施設係に移管することに伴い計上しているものであります。</p> <p>私からは、以上です。</p> <p>続きまして、学校教育課分について、ご説明いたします。</p> <p>資料の4ページをご覧ください。</p> <p>下から3行目、小中学校外国語教育支援事業は、平成30年度から小学校において新学習指導要領を先行実施するため、外国語指導助手を現在の8名から2名増員し、10名にいたします。</p>
松井教育支援課長	<p>次に、5ページをご覧ください。</p> <p>上から3行目、情報教育推進事業は、小学校5校における教育用パソコンを、デスクトップ型パソコンからタブレット型パソコンに更新いたします。</p> <p>また、デジタル教科書については、国語を小中学校全学年で整備いたします。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>続きまして、教育支援課分についてご説明いたします。</p> <p>資料の6ページをご覧ください。</p> <p>まず、1行目の特別支援学級生活介助事業及び特別支援教育推進事業は、特別支援教育支援員を増員するほか、特別支援教育に係る施設整備としてシャワー設備の設置等を実施します。</p> <p>次に、8行目のスクールソーシャルワーカー事業ですが、スクールソーシャルワーカーを1名増員し3名体制とし、支援の充実を図ります。</p>
鈴木給食センター長	<p>私からは以上です。</p> <p>続きまして、給食センターの予算についてご説明いたします。</p> <p>資料の6ページをご覧ください。</p> <p>上から9行目になりますが、学校給食事業につきましては前年度と同様の予算計上となっております。</p> <p>次の対雁調理場施設・設備整備事業につきましては、連続式揚物機更新等に係る経費であります。</p> <p>次のセンター調理場施設・設備整備事業につきましては、食器洗浄機更新等に係る経費であります。</p>
天野生涯学習課長	<p>私からは以上です。</p> <p>続きまして、生涯学習課所管分をご説明いたします。</p> <p>資料の6ページをご覧ください。</p> <p>下から6行目、公民館施設補修整備費であります。中央公民館の屋上防水改修工事に係る経費として増額となっております。</p> <p>次に、資料7ページをご覧ください。</p> <p>2行目の江別市PTA連合会補助金は、江別市で石狩管内PTA連合会研究大会が開催されることから予算額が増額しています。8行目のえべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業であります。PRのための自治会回覧チラシを内部印刷することにより予算額が減額しています。</p> <p>次に、資料8ページをご覧ください。</p> <p>上から8行目の青少年の科学文化啓発事業であります。平成22年にノーベル化学賞を受賞した鈴木章先生の功績を讃えるため、地域の団体がノーベル賞顕彰額を市内小中学校及び市内公共施設に贈呈するための補助事業であります。</p>
三浦スポーツ課長	<p>私からは以上です。</p> <p>続きまして、スポーツ課所管分について、ご説明いたします。</p> <p>資料の8ページをご覧ください。</p>

	<p>下から7行目の市民体育館改修整備事業、次の行の青年センター改修整備事業は、市民体育館の弓道場拡張のほか、社会体育施設の改修整備に係る経費です。</p> <p>下から4行目の屋内体育施設管理運営事業は、平成18年度の開始から4期目となる屋内体育施設の指定管理に係る経費です。</p> <p>次に、9ページをご覧ください。</p> <p>上から4行目、スポーツ合宿誘致推進事業は、スポーツ合宿誘致に係るPR活動経費、道外からの合宿団体への送迎サービス、特産品提供、野幌総合運動公園等の施設使用料の補助などの支援を行う経費です。</p> <p>私からは以上です。</p>
山岸情報図書館長	<p>続きまして、情報図書館所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の9ページをご覧ください。</p> <p>上から6行目の子どものための読書環境整備事業であります。小中学校図書館の活用、充実を図るため、引き続き、司書を巡回配置し、読書環境整備や調べ学習などの教育活動への支援を継続してまいります。</p> <p>次に、2行下の図書館設備等更新事業であります。今年1月に更新整備した図書館システムやパソコンなどの通年運用に係る保守経費のほか、館内の空調設備改修経費を計上しております。</p> <p>私からは以上です。</p>
榑田郷土資料館長	<p>続きまして、郷土資料館所管分について、ご説明いたします。</p> <p>資料の9ページをご覧ください。</p> <p>下から6行目のセラミックアートセンター企画展開催事業ですが、平成30年度については、東京国立近代美術館工芸館名品展等の開催経費を計上しております。平成29年度は、作品輸送費等を要しない企画展を中心としたため、一時的に事業費が減少していたことから、平成30年度は増額となっているものです。</p> <p>次に下から3行目、セラミックアートセンター改修事業では、開館から24年を経過し、経年劣化している設備の更新・整備を計画的に進めてまいります。</p> <p>次に10ページをご覧ください。</p> <p>上から4行目、埋蔵文化財発掘調査事業ですが、平成29年度に引き続き、高砂遺跡の発掘調査を行ってまいります。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>9ページ6行目の子どものための読書環境整備事業で、司書3名と支援司書1名と書かれています。支援司書とはどのような役割の方なのでしょうか。</p>
山岸情報図書館長 月田教育長 須田委員	<p>司書3名とありますのは、学校を巡回する、言わば現場で支援する司書のことで、その3名を包括するのが支援司書ということになります。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>8ページの青少年の科学文化啓発事業は新規事業ですが、もう少し具体的に説明していただけますでしょうか。</p>
天野生涯学習課長	<p>こちらの事業につきましては、まず、ふるさとふれあい推進事業としまして、市民グループや団体などが事業主体となり企画した、地域の活性化や地域づくりを推進する事業に対して、当市の企画政策部が選定委員会を設け、選定する事業がございます。これについて、地域の団体、特に大麻地域の方々が中心となって実行委員会をつくりまして、ふるさとふれあい推進事業の選定に応募した状況であります。このたび、選定委員会でこの事業が選定されたことによりまして、実行委員会からの申請を受け、教育委員会の予算で事業費を補助し、青少年というくくりの中で、市内の小中高校、公共施設に顕彰額を寄贈するという内容でございます。</p>
須田委員 天野生涯学習課長 月田教育長 渡部教育部長	<p>それで、鈴木章先生のノーベル賞顕彰額贈呈というのは、ということなのですか。</p> <p>鈴木章先生がノーベル賞に輝いたカップリングの研究における事業功績を記載した顕彰額を各学校等に寄贈する内容になっております。</p> <p>補足などはありますか。</p> <p>鈴木章先生がノーベル賞を受賞されまして、江別市にご在住なものですから、その功績</p>

<p>月田教育長 渡部教育部長 月田教育長 林委員</p>	<p>をこれからの小中学生、若い世代に対して伝えていきたいという申し出があり、各学校や公共施設に、鈴木先生の写真と功績の内容について、小学生であれば小学生が分かりやすいように、中学生、高校生であればそれぞれの世代に分かりやすい内容で、その功績を広く紹介する目的で顕彰額を設置しようとするもので、市民団体が進めている事業になります。</p> <p>市民団体が進めているところに補助をするということですね。</p> <p>教育委員会が経費を補助します。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>6ページにスクールソーシャルワーカーの1名増員がありますが、不足気味だったところに1名増えるということで喜ばしいことだと思います。1名増えることによって、どのような負担軽減になるとか、新たな取り組みができるとか、そういったことがあれば、教えていただきたいと思います。</p>
<p>松井教育支援 課長</p>	<p>スクールソーシャルワーカーにつきましては、最近の状況として、児童生徒の心の問題ですとか、家庭や友人関係の問題等が多くありまして、子供たちを取り巻く環境が複雑化していることが挙げられます。また、各学校や保護者の認知度が非常に高まっていることもありまして、スクールソーシャルワーカーの負担がさらに増えている状況もあります。</p> <p>今までは、2名体制で野幌を境にして江別側と大麻側という形で地区割りをしておりましたが、3名体制になることで、よりきめ細かな支援体制を整えたいと考えております。</p>
<p>月田教育長 橋本委員</p>	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>質問ではありませんが、9ページのセラミックアートセンターの企画展開催事業のことで、平成30年度に行うということですが、せっかくこういう事業をやるので、是非、子供たちにも見せてあげられるように学校にも働き掛けるなど、多くの人に見ていただけるように工夫していただければと思っています。</p>
<p>月田教育長 兼平郷土資料 館主幹</p>	<p>この企画展は、子供たちが見ても、すごく良いと思えるものなのですか。</p> <p>作品としては、大人から子供の方まで楽しんでいただけるものになると思っていますし、会期中には東京国立近代美術館工芸館の職員の方に来ていただいて、タッチ・アンド・トークということで作品を触って感じてもらえるような関連事業もありますので、そういった取り組みから子供たちに工芸品に対する親しみを深めてもらえるようにしたいと思っています。</p>
<p>月田教育長 須田委員</p>	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>5ページに、経済的に修学が困難な高校生に対する奨学資金の貸付けとして、奨学資金貸付金という事業があるのですが、平成29年度でどのぐらい貸付けがあったのでしょうか。何件ぐらい分かれば教えてもらえたらと思います。</p>
<p>廣田学校教育 課長 月田教育長</p>	<p>平成29年度は、新規と継続を合わせて10名に貸付けを行っています。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、平成30年議案第6号 平成30年度江別市一般会計教育予算(案)についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>以上をもちまして、第1回臨時教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後3時25分

署名人(教育長) 月田 健二

署 名 人 林 大輔